

平成27年3月期

# 第2四半期決算説明資料

平成26年11月12日

「快適」をあなたの<sup>いま</sup>現在と未来へ



**川重冷熱工業株式会社**

# 平成27年3月期 第2四半期決算概要

# 平成27年3月期第2四半期損益計算書

単位:百万円

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	備考
売上高	7,706	7,157	93%	主に空調部門の売上減少による。
売上総利益	1,902	1,873	98%	主に空調部門の売上減少による。
販売費及び一般管理費	1,946	1,944	100%	
営業損益	△44	△71	162%	主に空調部門の利益減少による。
営業外収益	48	10	22%	
営業外費用	4	11	268%	
経常損益	0	△71	-	
税引前四半期純損益	0	△71	-	
法人税等	10	△15	-	
四半期純損失	△9	△56	-	

# 平成27年3月期第2四半期貸借対照表

単位:百万円

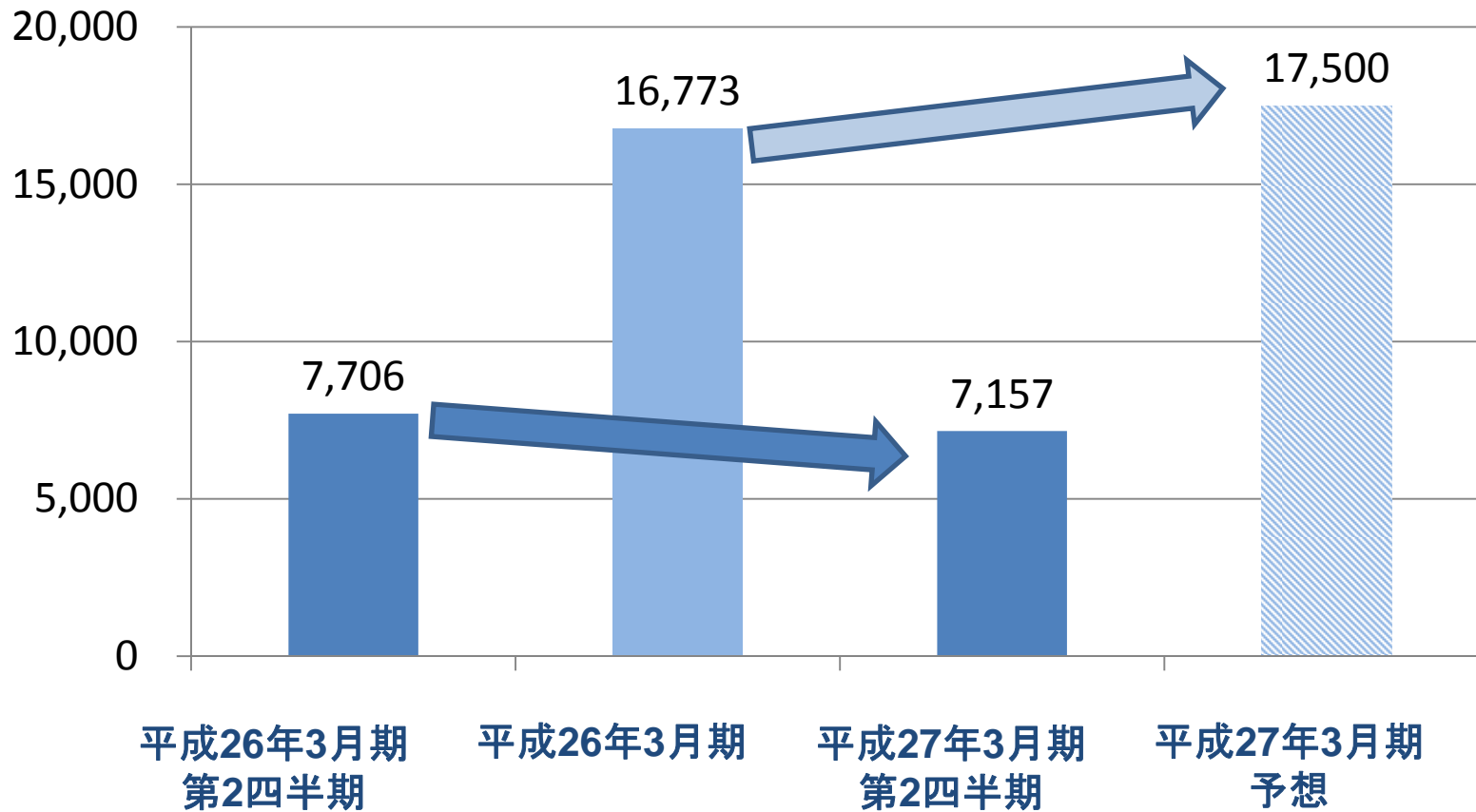
資産の部	前第4四半期	当第2四半期	備考
流動資産	8,214	7,921	
現金及び預金	5	4	
受取手形・売掛金	6,640	5,340	前期末残高の回収と売上高の減少による。
棚卸資産	1,311	2,316	受注残高の増加による。
繰延税金資産	307	332	
その他流動資産	△50	△72	
固定資産	4,474	4,372	
有形固定資産	2,090	2,041	
無形固定資産	345	297	
繰延税金資産	935	935	
投資その他の資産	1,103	1,097	
資産合計	12,688	12,293	

## 平成27年3月期第2四半期貸借対照表

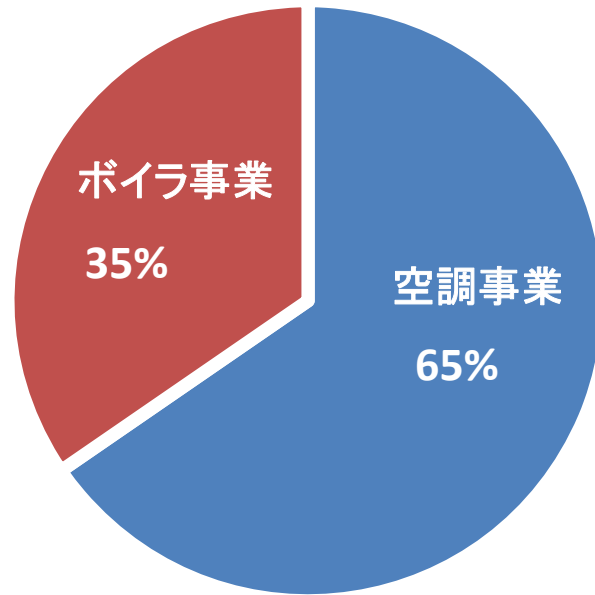
負債・純資産の部	前第4四半期	当第2四半期	備考
	単位:百万円		
<b>流動負債</b>	5,918	5,747	
支払手形・買掛金・電子記録債務	3,778	3,697	
未払法人税等	218	28	
その他流動負債	1,922	2,022	主に受注損失引当金・前受金の増加による。
<b>固定負債</b>	2,545	2,483	
退職給付引当金	2,426	2,369	退職金支払のため。
その他固定負債	117	112	
<b>負債合計</b>	8,463	8,230	
資本金	1,460	1,460	
資本剰余金	1,228	1,228	
利益剰余金	1,536	1,379	
自己株式	△19	△20	
株式等評価差額	19	14	
<b>純資産合計</b>	4,225	4,062	
<b>負債・純資産合計</b>	12,688	12,293	

# 売上高の推移

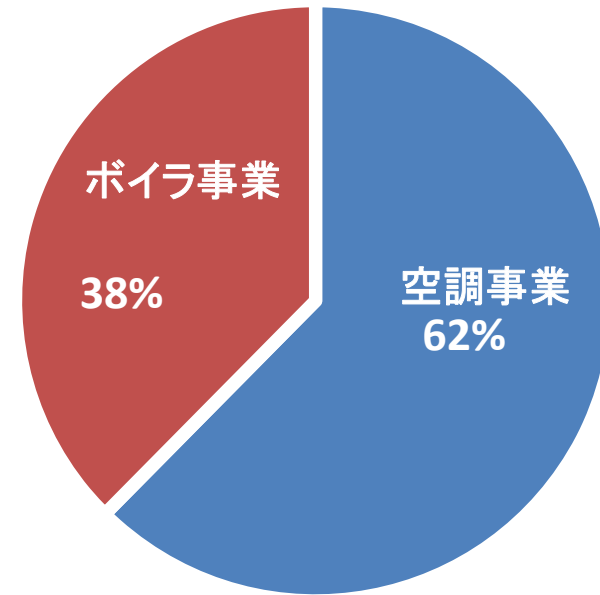
単位:百万円



## 売上高構成比の比較



平成26年3月期  
第2四半期



平成27年3月期  
第2四半期

# 事業区分別分析

## 空調事業

- ① 機器本体の売上高は、消費増税に伴う前倒し需要の影響により前年同期を大幅に下回りました。
- ② 改修改造工事・メンテナンスの売上高も、消費増税に伴う前倒し需要の影響により前年同期を下回りました。

## ボイラ事業

- ① 機器本体の売上高は、大型ボイラの売上が減少したため、前年同期を下回りました。
- ② 改修改造工事・メンテナンスの売上高は、大口の定期検査が増加したため、前年同期を上回りました。



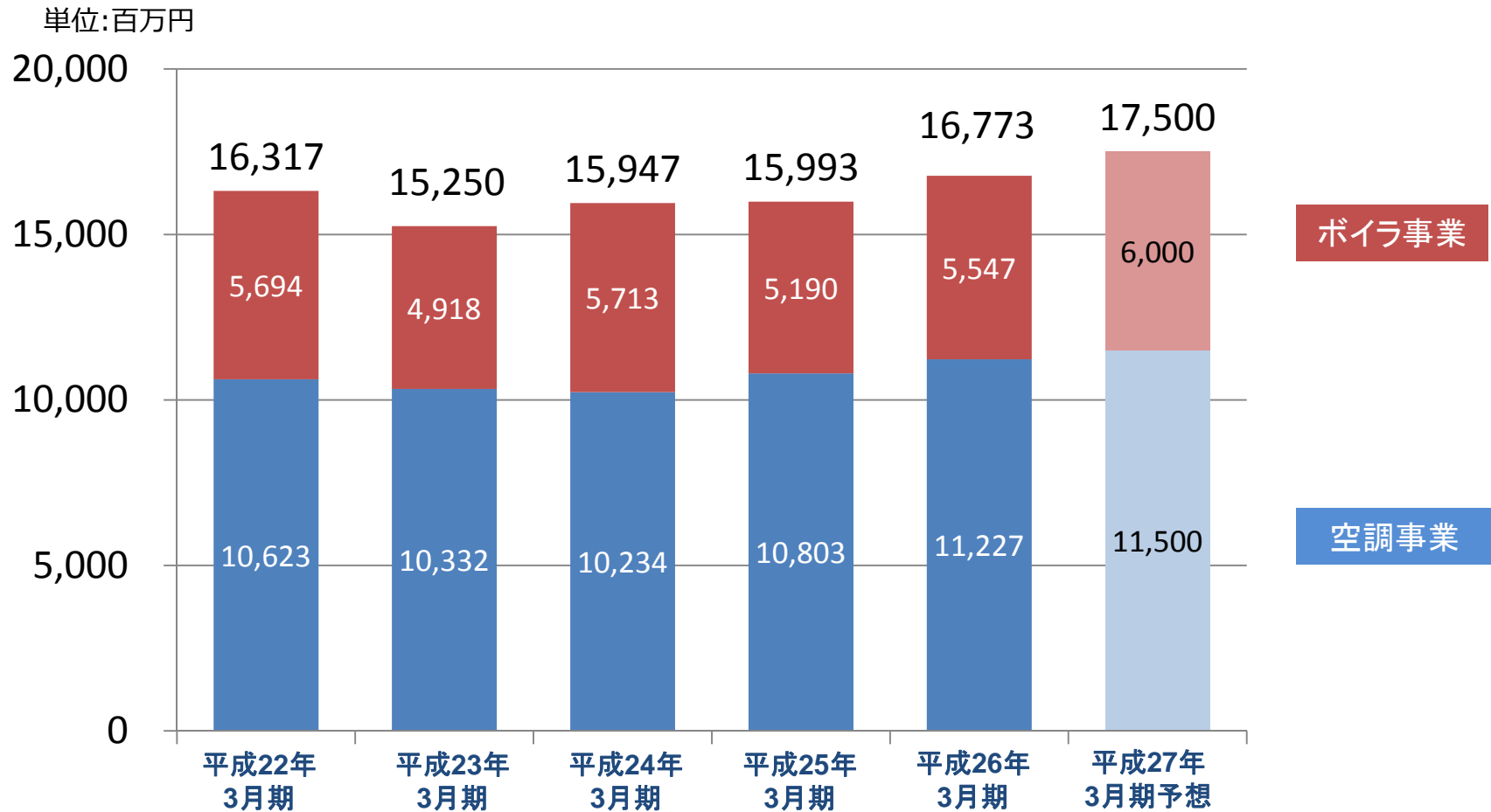
# 平成27年3月期 業績予想

## 平成27年3月期の業績予想

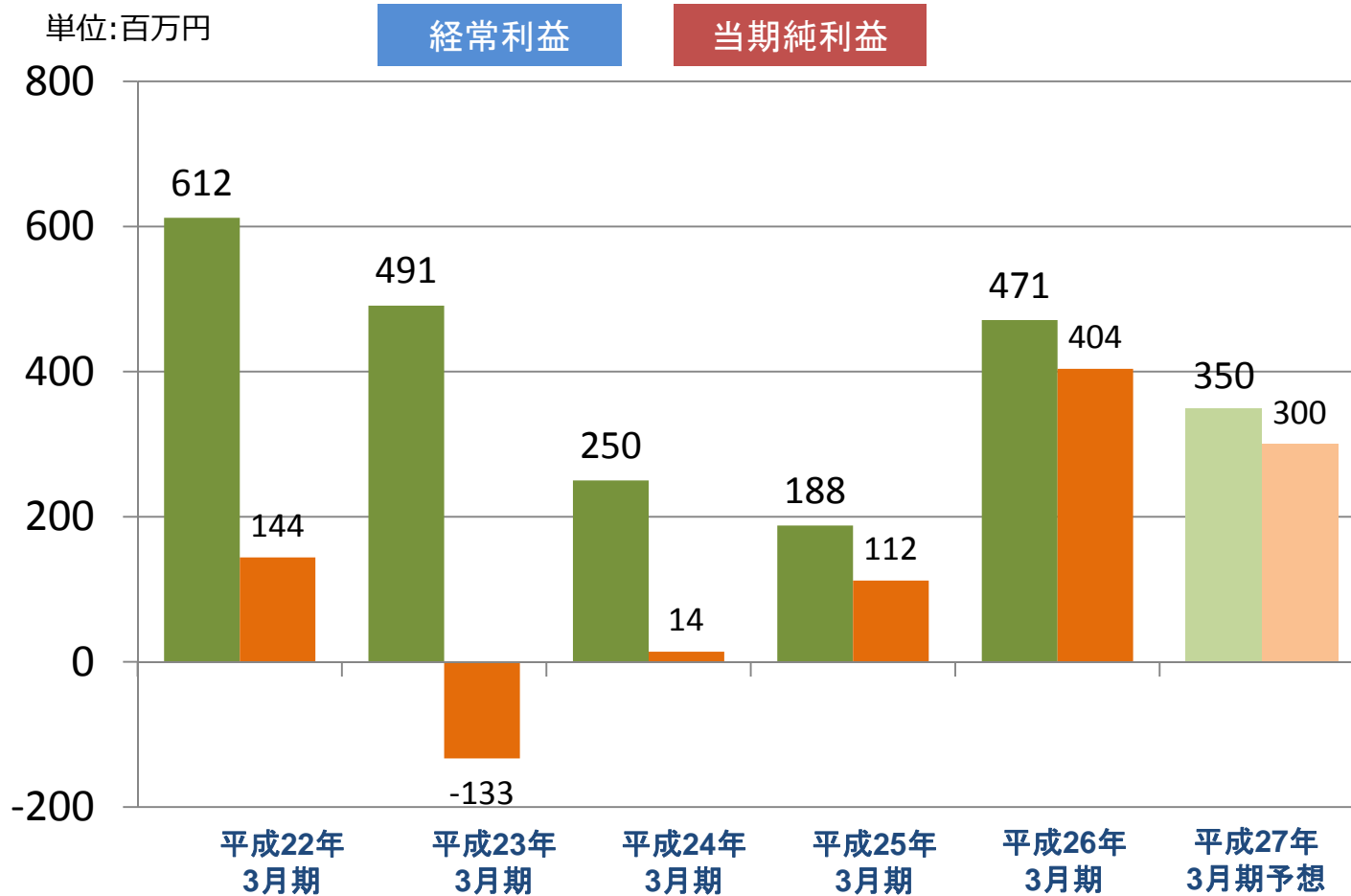
単位:百万円

	平成26年3月	今期予想	前期比	備考
売上高	16,773	17,500	104%	
空調事業	11,227	11,500	102%	
ボイラ事業	5,547	6,000	108%	
営業利益	408	370	91%	
経常利益	471	350	74%	
当期純利益	404	300	74%	

# 売上の推移（予想）



# 利益の推移 (予想)



# 事業区分別計画

## 空調事業

- ① 7月に超省エネジェネリンク「エフィシオNZJ型」を市場投入するなど、主力製品のエフィシオシリーズ拡充に努めております。今後もシリーズ拡充による受注拡大を図ってまいります。
- ② 「省電力」「高効率」「排熱の高度利用」をキーワードに、24時間監視システムの「テレメンテ」省エネ制御システム「イーコップセイバー」などの空調設備全体の省エネルギーを提案するソリューション営業活動を強化し、機器・改修改造工事メンテナンスの受注拡大に努めます。

## ボイラ事業

- ① 「高効率の提供」をキーワードに、大型貫流ボイラ「イフリート」、小型貫流ボイラ「KF」を中心に、拡販に努めてまいります。
- ② 「排熱の高度利用」を目指し、川崎重工グループのガスタービン・ガスエンジンを中心に、排熱ボイラを採用いただけるよう積極的に取組んでまいります。
- ③ 定期検査や省エネ改造などの改修工事などの改修工事を中心とした工事の受注拡大ならびに年間保守契約の獲得向上に努めます。

## 本資料に関する問い合わせ

「快適」をあなたの<sup>いま</sup>現在と未来へ



# 川重冷熱工業株式会社

企画室 経営管理部

TEL 077-563-1111

### ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願いいたします。